

ひと・夢・まち 町長コラム

山形県少年の主張大会～今伝えたい私のメッセージ～を聞いて（令和4年11月号）

第61回山形県少年の主張大会(9月開催/山新10月6日掲載)をユーチューブで視聴しました。論語/孔子のことばに「後生畏るべし(年が若く気力もあり、将来への可能性をもっているから、畏敬すべきである)」がありますが、まさしく、現代の中学生に改めて感服し、安心したところです。

現在の学校教育は、ITの導入により積極的に情報を活用できるようになり、あらゆる問題・課題が人工知能(AI)によって解決できるような時代を迎えていますが、彼らの主張からは、事実を見つめる力強い心の声が伝わってきました。戦争問題・自分の夢・他人への思いなど、一つ一つのテーマにしっかり向き合っている彼らは、これからの社会の希望であると感じることができました。

彼らと同年代の当時16歳だったグレタさんは、我々大人に対して「温暖化対策」について要求し、世界中の若者たちを動かし、「持続可能な世界」を次世代に残すための課題を提言しました。

選挙権を持っていない若者も、今の社会に対して大いに疑問を持ち、提言する権利と勇気を持ってまちづくりに参加することは、重要であると改めて感じています。